

第一ユニット

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	24	
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	3	
		1 外部評価1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念はもとより運営指針や職員の心構えを提唱し、常に利用者が地域の中で暮らし続ける事を支えていくサービスに日々邁進している	1	玄関や各ユニットや事務所に欠く事のできない理念を掲げ、常に利用者を支えるサービス提供の実施に努めている
		2 外部評価2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全ての職員が理念の重要性を周知すると共に、理念の実現に向けた取り組みは日々実践されている	1	朝礼時の唱和。機会ある毎に朗読し、理念に基づいたケアの内容について協議する等の努力を怠らずにやっている
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	理念の重要性は十分に周知している為、これを日々実践していく事が必要と心得、利用者・ご家族・地域の方々と接していく機会に取り組みの姿勢を見て頂くように努めている	1	家族を交えた食事会や行事への招待や、近隣施設への訪問や買い物など、地域密着型のサービスを常に心掛け実践している
		2	地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣接する施設の方々とは、開園以来の交流が続いている。地元で収穫した野菜で調理した物を一緒に食したりお茶会を開く等、付き合いの場は日常にある	1	散歩コースの途中で立ち寄られたり、休憩場所として利用されたり、気軽に挨拶を交わし声掛けをさせて頂いている
	5 外部評価3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で開催される行事は、入居者の意向も聞き入れ参加している。法人内施設の行事も殆ど合同で開催されるので、交流の機会は多い	1	文化祭、敬老祭、カラオケ大会、夏祭り、各種行事の参加。地元商店への買い物、理・美容院の利用等、地元の人々との交流も多い	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	事業所、若しくは関連施設との合同行事の際の招待や、ホームへの見学や、遊びに立ち寄り頂く等の機会を設けている	1	地域交流スペースの開放や園外で行う花火大会などに参加して頂くようお知らせし、送迎なども職員で対応している
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	5	
		7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	外部評価実施の意義を踏まえた上で、全職員で自己評価に取り組み、改善策を協議し、常に利用者を第一としたケアの改善に向けた努力をしている	1	評価結果を踏まえて、利用者や家族の意向を十分に伺う機会を設け、要望にそえるサービス提供を実践している。外出も出来る限りの支援をしている。医療・健康面についてはホームドクターと十分に話し合い、ご家族へ現況報告をし共に方向性を決めている
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域密着型サービスの実践について本会議にて報告し率直な意見を頂き、利用者を中心とした質の良いサービス向上の理念を忘れる事無く実践に繋げている	1	買い物エリアの拡大。医療健康面に関する適切な支援（ご家族への支援も含む）。
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	グループホーム連絡協議会を通じて、市町村職員との交流を図る機会を得ている。市町村担当者の来訪にてホームの現状を報告し、理解して頂き、協力をお願いしている	1	グループホーム連絡協議会に参加し、解らない事は市町村の担当者へ相談し、適切なアドバイスを得ている
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度の活用については、契約時に利用者や家族へ説明をしている。必要とする時に活用出来るよう、職員も十分に理解している	1	成年後見制度の仕組みについて理解をする為に、パンフレットを身近に準備している
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	職場研修にて実施。高齢者虐待防止に関する定義、身体拘束廃止に関する定義、身体拘束禁止規定等、条例を常に確認し絶対禁止の意思の基、利用者の介護に従事している	1	利用者の心身の状態の変化等、細心の注意を払い職員が心を一つにして利用者の安全確保に努めている

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)		自己評価7項目・外部評価3項目	7	
		12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書を基に確認をし、利用者や家族の意向を聞き入れ、納得されるまで話し合いを行っている	1	利用者・家族の都合を優先し、ゆっくりと話し合える時間を確保している
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員が話を聞き、管理者に伝え、早期解決に向けて対応している	1	管理者は利用者への対応を率先して行い、誠意を持って苦情等の解決に取り組み、職員と協議し専門的知識を有する方と相談し、運営に反映させている
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時に必ず報告を行うようにし、又、電話にて近況報告を実施している	1	季節ごとに担当者が写真入りフォトレターを出し、行事や暮らしぶりなどをお知らせしている
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に気兼ねなく相談出来るように声かけをし、意見を聞き協議しながら取り組んでいる	1	御家族の意見は折に触れ管理者が常に対応し、不満・苦情等を表出して頂ける機会を作り出している
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案を協議し問題点課題点などの改善を行っている	1	職員は自由な発案・発言をする機会も多く、申し送りノートにより問題点・課題点も検討していくようにしている
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	利用者の安心・安全・より良い生活を確保し、支援する為に必要に応じて調整を行っている	1	利用者の外出についても希望に基づき対応している

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係を維持していく事を常に配慮し、職員の意向も十分に聞き入れながら、利用者へのダメージを防ぐ事に努めている	1	利用者の心身の状態に応じて、十分な気遣いをしながら対応している。入居者一人ひとりに説明をする。勤務のシフトを配慮する等
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	6	
	5 人材の育成と支援	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	窓口は広く設け求職者の意向を十分に聞き入れ、働く意欲を第一と考えている。個性を大切に個人の持てる能力を十分に發揮して頂ける様配慮している	1	シルバー人材派遣の方々についても個人の事情による休職の受け入れ、再就業の受け入れ等をし、利用者にとって馴染みの方の支援が一番と考えている。研修や資格取得の為の勤務調整等、職員の要望に沿って実施している
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	人権意識を喚起すべく朝礼時に啓発し、また学習資料の提示もしている	1	内部研修により、人権尊重に対する意識の向上の取り組みは実践出来ている
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全ての職員に対し研修やトレーニングを積んでいく機会を設け、実践している	1	法人内における研修の参加、資格取得の為の研修参加の推進等、勤務調整を行い参加しやすい体制を整えている
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会への参加により、意見交換の機会を得ている	1	近隣のグループホームとの交流、夏祭りや行事への招待等を行っている
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の業務上の悩みやストレスを解消する方策を取り入れている	1	休憩場所の確保(冷暖房・寝具の設備等。職員の悩みの聴取。スーパーバイザーの導入等)

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修や資格取得の希望者には、優先的に公休・有休・勤務調整をし、向上心を損なわないよう配慮している	1	研修会参加など、もっと積極的に取り組んでいきたい
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	9	
安心と信頼に向けた関係作りと支援		1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)	自己評価4項目・外部評価1項目	3	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	ゆったりとした、本人が話しやすい和やかな環境を作り、受容・共感の心で傾聴している	1	十分に傾聴出来る機会を設けている
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談は家族の都合に合わせ、相談しやすい環境を作り、十分に話し合い、安心・信頼してもらえるよう努力している	1	来訪された時、又電話等で近況報告を行いつつ、家族が相談しやすい状況を作る様心掛けている
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時には、管理者だけでなく介護支援専門員も一緒に話し合う様にし、本人や家族に不安が残らないように、十分に話し合いを行っている	0	
		28 外部 評価 15	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人・家族と十分に話し合い、一日からでも何回でも体験入居なども利用する事を提案しながら、徐々に慣れていくよう工夫している	1	プラン・サービス見直しなど、相談しながら柔軟な対応をしている
		2	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)	自己評価6項目・外部評価1項目	6	
	29 外部 評価 16	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	一緒に掃除・食事作り・配膳などをしており、得意としていた事を出来る機会を作るようにしている	1	おやつ作りや縫物など、得意な人達に参加してもらっている。トランプや花札なども、時には一緒に楽しんでいる	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	2 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	利用者の状態報告は適宜行っていることによる安心感を持って頂くように努め、必要な援助を依頼することも出来ている。スタッフと家族が一体となって、利用者を支えあう事が出来ている	1	利用者の近況を報告し、必要のない時は援助を行い、家族にも協力して頂き、信頼関係を築き、安心感を持ってもらう
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	双方の意向や要望をしっかりと受け止め、お互いが一番安心して生活できる状態の構築に努めている	1	本人と家族のより良い関係を築き、安心して生活出来る様支援していく
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームへ来訪して頂く機会を設けたり、電話や直接訪問したいなどの、利用者の要望に応えるようにしている。日帰り旅行気分でその場所に同行する等もしている	1	ホームへ来訪したり、訪問したりして交流を深め、途切れないように生きる励みにして頂く
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	趣味提供をし、他の利用者との交流を図る	1	本や新聞などの貸し借りにて、他の利用者との交流を図り、コミュニケーションをとる
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	当園で過ごされた事が今後の生きる糧となる様、電話により近況を伺ったり、相談をしたりしやすい様な機会を作るようにしている	1	園の行事へご招待する。入院されている方には、お見舞いに向う
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	6	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	3	
1	1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族の意向を聞く事に努め、ケアプランやサービスを立案し実施している。変化していくなかで困難となった場合、利用者本人の思いを優先し、家族にも協力を求める努力をしている	1	家族とコミュニケーションを取り、利用者の過ごしやすい環境を継続し、支援する

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	愛用品・馴染みの品々・アルバム・部屋の調度品・装飾品を手掛かりに、輝いていた時代・懐かしい時代・楽しかった時代を回想し、心の安定を図っている	1	本人や御家族の生活歴・時代背景・習慣・環境等、人生の歴史を傾聴し、写真や愛用品・調度品等から、輝いていた時代等を語り合い、生き生きとした時間を共有している
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護日誌・個人ケース記録を毎日記載し、一日の過ごし方・心身状態等を十分に把握している。連絡帳により情報の共有化を図ると共に、朝礼でも関係者に報告・連絡を密に行い、周知徹底を図っている	1	一人ひとりの過ごし方・心身状態を毎日介護日誌や個人ケース記録に記載するとともに、職員全員が把握出来る様に、常に連絡帳に記入し確認印をとっている
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
	2 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	38 外部評価18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人・ご家族・スタッフと話し合い、必要に応じて医療関係者と話し合っ、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画の作成を実施している	0	
		39 外部評価19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の期間に応じた見直しを行っている。又、現状に即した最適なケアを実施する上で介護計画の見直しは必要不可欠であるため、本人・ご家族・スタッフ・必要な関係者と話し合いを必ず行っている	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人ケース記録にケアの実践・結果・気づきや工夫を記入するとともに、早急な対応が必要な方は、情報の周知徹底を図りながら実施し、介護計画の見直しを行っている	0	
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価1項目・外部評価1項目	0		
	3 多機能を活かした柔軟な支援	41 外部評価20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その時々々の要望に応じて、本人や他族との連絡を密に取りつつ、その時々々の状況を踏まえながら要望に応じられるように充分に話し合い、柔軟かつ円滑に事業所の多機能性を活かした支援をしている	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	3	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の思いを十分に尊重し、かつ必要に応じてフラワーアレンジ教室への参加や陶芸教室・消防・寺院参拝等、地域資源と協働で支援している	0	
	4		本人がより良く暮らし続けるためのケアマネジメント			
		43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の意向や必要性に応じて本人と関わりのあるケアマネージャーと相談し、適切な支援をしている。地域のサービス事業者と交流を持ち、地域行事の合同参加やレクリエーション等の活用をしている	0	
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	より良いケアの実現のため、地域包括支援センターの助言を受けることがある	0	
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力医療機関としてホームドクターは存在するが、それ以外にも本人及びご家族の希望を尊重し、納得が得られたかかりつけ医と事務所の関係を築きながら、希望が叶うように支援している	1	御家族の都合に合わせて、病院への送迎・介助等も行っている
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	近隣の病院にも受診し、信頼関係を深め、相談出来る様な関係を築き上げている。それにより適切な診断や治療を受けられるように支援している	0	
	47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	雇用している看護職員や近隣の病院の看護職と相談する機会が多くある為、多方面にわたって助言があり、利用者の健康管理や医療に充分活用出来ている	1	雇用している看護職員が利用者との関わりを多く持ち、信頼関係を深めていくなかで気軽に相談に応じている。日常の健康管理や医療活用も十分に活用出来ている	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	本人がより良く暮らし続けるための地域の資源との協働	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	日頃からの生活習慣や心身の状態を病院関係者へ伝えると共に、お見舞いに伺ったり家族や病院関係者へ状態の確認・相談に努めたりと常に連携を取り、入院時に安心して過ごせるように、又、出来るだけ早く退院出来る様にしている	0	
		49 外部評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居当初から重度化した場合や終末期のあり方について、本人やご家族・かかりつけ医等と話し合い、必要に応じて繰り返してかかりつけ医等から具体的な選択肢を提示。本人・家族の要望に沿う形で支援を行い、かつ全員が納得し方針を共有している	0	
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人及びご家族には入居当初より、出来る事・出来ない事を具体的に説明し納得して頂き、かかりつけ医と共にチームとして支援に取り組んでいる。今後の変化を十分に予測し、関係者と一丸となって十分に検討し、準備を行っている	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人が自宅やグループホームから別の住居へ移り住む過程において、本人・家族・関係者間で連絡を密に取りながら情報交換し、納得出来るまで話し合い、理解を深め、家族及び本人が安心して住むように至っている	1	十分な話し合いや情報交換に基づきながら徐々に別の住居先に慣れて頂くようにショートステイを行い、精神的なダメージを防ぐように努めている
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価 3 8 項目・外部評価 1 1 項目	33	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価 3 0 項目・外部評価 9 項目	25		
	1 その人らしい暮らしの支援	(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	3		
		52 外部評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	丁寧な言葉使いで理解出来るまで接し、訪室の際にも必ず利用者の意思確認を図っている。記録類の管理は徹底し、個人情報の保護は保たれている	1	スタッフは常に丁寧で柔らかな言葉使いで接している。時には朝の体操や午後のレクリエーションで親しみやすい言葉使いで利用者や笑いを共有している
	53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	利用者が意思を表出できるよう、その方のペースに合わせて傾聴し、対応している。介護者の思いが優先してしまうような会話はしないように努めている	1	利用者を主体とした介護を努め、継続していく	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部 評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の希望を出来る限り受け入れ天気のいい日には散歩の希望があれば同行し買い物へ行きたいと希望があればお連れするなど、満足して頂けるように支援している。	1	利用者の希望を出来る限り受け入れる為職員体制を見直すなどをし、一人ひとりのペースを大事にし、満足して頂けるように支援している。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価6項目・外部評価2項目	5	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の望むお洒落ができる様お化粧品やマニキュアなど、決して無理強いせず、適度なお洒落が出来るように支援している。	1	毎日の訪問理容や、利用者行きつけの店がある方など本人の希望に沿うようにしている。
		56 外部 評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者と職員と一緒に食事をする中でコミュニケーションを図りながら利用者の好みの合わせた調理献立を心がけており食事の下ごしらえ配膳、食器のかたづけなど進んでして下さってる。	1	一人ひとりの好みに合わせ、おやつ時にコーヒー牛乳、紅茶など提供したり一緒に手作りおやつを作るなど楽しんで食事が出来るように心掛けている。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲食物は、冷蔵庫内に個人ボックスを設け利用者の希望時に提供したり1人1人の嗜好品の情報を職員が、共有し購入。利用者の希望時や状況に合わせて提供している。	1	冷蔵庫内の個人ボックス以外のおやつも個人名を書き品物が古くならないように声かけを行ったり、希望時に提供している。
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人ひとりの排泄パターンを把握しオムツやパットを出来る限り使用しないで済むように時間おきのトイレ誘導や声かけをし、便座にて排泄出来るよう支援している。	0	
		59 外部 評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日の設定はあるものの、個人個人の希望やタイミングにあわせるなどいつでも自由に入浴出来るようにしている。	1	家族や友人の来訪や、病院受診などで入浴時間がとれそうにない時でも本人の希望を聞きいつでも入浴出来るよう支援している。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	御利用者の過半数の方は安眠されているが不眠傾向の方や頻尿の方は、日中昼夜逆転しないような離床促し取り組みを行っている。安眠出来るように環境整備にも取り組んでいる。	1	個々の御利用者に合った生活リズム等にも配慮し御利用者がよりよく安眠できるように力を入れたい。
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	6	
		61 外部 評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	個々の能力に応じ行って頂く事、したいことを聞き取りしそれぞれ無理のないように役割を分担し行えている。	1	ご利用者の日々の体調変化や心情などにも配慮し又、ADL向上につながるようにも取り組んでいきたい。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	週一回の買い物レクレーションで、ご自分で選び支払を行えている。金銭勘定が出来る、お金を所持し利用できている。	1	御利用者全員に意見の確認を行えている。お金の管理ができない御利用者でも出来るだけご自分で支払って頂くようにしている。
		63 外部 評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1人ひとりのご希望、日用品の購入や気晴らし散歩等、様々なご利用者のニーズに沿って出来るだけ行えるようにしている。	1	散歩はもちろん気晴らしに外へ出たいなどの外出の許可、どの場所に何時から出ると、書面、口頭にて明確にし職員間又ご家族等いつでも把握出来るようにしている。
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	年間スケジュールにてレクレーションを計画し立案し実行している。又個人のご要望などは行えるように対応している。	1	年間スケジュールにてレクレーションを計画、立案は前月より早目に御利用者や職員間で聞き取り、それに基づいて実施している。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御利用者より電話がしたいと言われたらいつでもどうぞ、と言う様な いつでも気軽に、と思って頂けるように声かけにも注意している。通信手段等を利用して御家族との会話コミュニケーション計れるように進めている。	1	定期的にフォトレーターにて御家族に近況報告し御利用者にも、送っていますよと声かけし少しでも不安や気にされる事がないようにしている。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	家族・知人・友人等が気を遣うことなく、気軽に訪問して頂ける様に声掛けを行っている。家族・知人・友人が来訪された際には、感謝の気持ちを持ってお茶の接待も行っている。自由に使って頂けるようにしている	1	職員全員、来訪者にはいつも明るく元気に挨拶をしている	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8 項目・外部評価 2 項目	6	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ベッドや車椅子には、少しでも身体拘束になるような物は使用していない。ベッドには安全確保の為、枕元のみ柵を使用。足元はセンサーを設置し、対応している	1	ベッド柵やセンサー等は、本人の拘束感になる様には設置していない	
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵をかけず、玄関を出入りする場合にはセンサーでキャッチし、玄関付近には必ず職員がいる為、常に安全確認は出来ている	1	センサー確認担当を決めているが、職員全員でセンサーを確認する様に心掛けている	
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間、定時の巡回を行い、常に安全確認を行っている。夜間は睡眠を妨げない様にしている。日中もセンサー等をキャッチし、利用者の安全に配慮している	1	歩行時やトイレでの転倒の危険性のある方には見守りを行い、安全確認をしている	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	はさみや爪切り、針などの本人で管理出来る品物は、本人に管理してもらっている。紛失がない様に確認させて頂いている	1	本人が管理出来ない物は、理解を頂き預らせて頂いている	
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状態に応じたケアを行い、事故が起きないように常に安全確認を行っている。歩行中や食事中等の利用者の行動には、気配り・目配り・心配りを行っている	1	歩行中・食事中・火気使用時等、全てにおいて利用者の負担にならない様、職員全員で気をつけ、見守り等を行っている	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	すべての職員は訓練を受けている。応急手当や初期対応のマニュアルの綴りを見やすい所に提示し、確認出来る様にしている	0	
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力により防災訓練や自主訓練を行っている。隣接する施設の協力も速やかに得られる	1	消防署立会の訓練を年2回実施している。隣接する関連施設との合同訓練も実施している
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族に対する説明は速やかに行われ、危険回避の対応策を充分話し合い検討している	0	
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75~81・外部 31)	自己評価7項目・外部評価1項目	5	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	朝夕のバイタルチェックをし一覧表に記入し、異変があれば申し送りノート・介護日誌や個人記録に記入し、主治医へ連絡し指示を仰ぎ、口頭でも報告をし対応している	0	
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	全員の職員が薬の管理を月毎に交代でしている為、理解出来ている。症状の変化があれば、主治医・薬剤師と速やかに連絡・相談が出来る為、確認出来ている	1	薬の変更や臨時薬が処方された時は申し送りシートに記録し、薬ボックスにメモ送付し、誰が見てもわかるようにしている
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	便秘によい食事作り、個人に合った水分補給、牛乳の提供、朝の体操などに取り組んでいる	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後や就寝前に声かけをして準備をしている。要介助以外の方は事後確認する。	1	週に1回歯科往診来られ口腔ケアも実施されている。義歯使用者は夜間洗浄剤を使用している。	
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	高齢者の方が安全に食べやすくをモットーに、骨抜き魚（信用できる業者に依頼）、軟らかい肉を一日の献立に組み入れる。野菜類も食べやすく個人の体調に配慮した調理を実践している	1	毎食後の水分補給、入浴後の麦茶、10時・15時のおやつと日本茶、牛乳やコーヒー牛乳等も提供する。誤飲に気配りしながら水分摂取の確保を心掛けている	
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	共有場所の手拭タオルをペーパータオルにしている。外出から帰ってきた時はうがいやハンドソープで手洗いしている。	1	来訪者にも玄関ホールに手指消毒剤やマスクを用意している。	
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	野菜や果物を生食で提供するときは、流水で充分洗浄する。賞味期限のチェックを行い、食材は適切な温度で保管する。調理用品の消毒は毎日行っている	1	まな板や包丁は、魚肉、野菜・果物を区別して使用する。夜勤者が調理用具を夜間消毒する。食事の作り置きをしない。布巾や手拭はこまめに取り替える	
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	8	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	5	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の草花を植えたり、近隣の人等と会話出来る様に、長椅子を設置している	1	ホール内には利用者の手作りのお人形等も置き、ソファやテーブルを設置し、憩いの場としても利用されている	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	テーブルの上には季節の花をいつも飾ったり、月毎のカレンダーを作ったり、テレビ等も音を調節し、温度調節もこまめに行っている	1	和室にはテーブル以外にコタツを設置して、体を休められたりしている	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	利用されている方々の寛ぎの場としてのリビングは、ゆっくりと過ごされる様和やかに会話できるのも円卓テーブルの良さであり、一人になれるような配慮もされている。玄関ホールも談話スペースがあり、思い思いに過ごされている	1	リビングにおいては円卓テーブルや畳スペースも利用し、利用者の方々の交流の場として楽しく会話も弾んでいる	
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご利用者や家族の方の思いを優先し、居心地のよいように話し合い、より良い居室作りを行っている	1	居室には利用者の方の思い出の品・家具・調度品等が持ち込まれ、居心地良く快適に過ごされるように配慮している	
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	外気の状態・利用者の方の健康状態を把握し、居室の喚起等に努めている	1	空気清浄機を設置している	
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	3	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	歩行移動時に必要な手すり・杖・歩行器・シルバーカー等の設備もあり、センサーも取り付け利用者の動きを迅速にキャッチし、適切な介助・見守りを実践している	1	シルバーカーや歩行器の保守点検。(タイヤの空気圧・ブレーキ・足を乗せるペダルの状況)	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室はネームプレートや手作り品、花等で工夫をしている。浴室・トイレにもプレート以外に利用者へのメッセージを添えている	1	居室やトイレにおける、ドア・扉の滑らかな開閉の点検。(戸車・潤滑油)	
		89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	利用できるスペースは充分にあるので、全て開放している。手作りのプランターは季節の花・野菜の栽培に活用している	1	ご利用者さんの手で花や野菜の種蒔や、鉢植えなどを実施して頂き、成長の喜びを感じて頂く	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	1		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	1		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	1		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	1	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。